

## 緑内障の早期発見について

40才以上の日本人では約6%(17人に1人)が緑内障に罹患していると言われています。



緑内障とは**眼圧**(眼球内の水圧)の影響で**視神経**(視覚情報を脳へ送る眼の神経)が障害されてしまう病気です。テレビ、新聞などでもよく取り上げられていますので、「失明にいたる病気」との概念は広まっていると思います。しかし早期に発見し適切な治療を続けていけば非常に高い確率で視野障害の進行を防ぐことができます。

そこで**早期発見**が重要になってきますが早期の緑内障は自覚症状が乏しいのが特徴です。ではどうすれば早期に発見できるでしょうか？

まず眼圧が高い緑内障は人間ドック、検診などの眼圧測定で発見できますが、眼圧が正常なタイプ、例えば緑内障発作の前段階や正常眼圧緑内障などは見逃されてしまいます。しかも日本人の緑内障患者の6割は眼圧が正常なのに視神経が障害される正常眼圧緑内障なので、眼圧だけをあてにするわけにはいきません。したがって、「40歳の誕生日を迎えたら1回は眼科へ受診しましょう。」眼科では眼底の視神経乳頭を観察することにより自覚症状の非常に乏しい**正常眼圧緑内障**も早期に判断可能です。

また、**緑内障発作**という激しい病状があります。この発作は眼圧の急激な上昇による激しい眼痛、頭痛、吐き気、嘔吐などの症状をおこし、他の病気と思込み治療が遅れると失明することもあります。この緑内障発作の可能性も眼のなかの房水(栄養を運ぶ液体)の流れる部分を観察することにより予測可能で、レーザー治療などの適切な対応により発作の予防もできるのです。

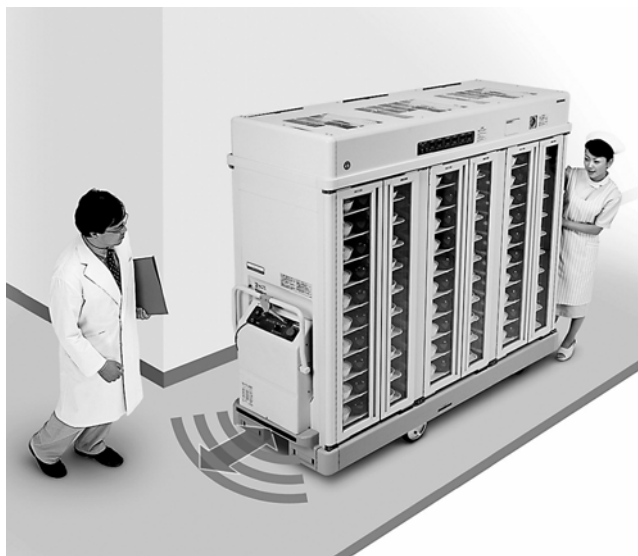
緑内障は、早期発見と適切な治療の継続により多くのかたが、生涯充分な視機能を維持できるようになってきました。また副作用が少なく、有効性も高く、点眼回数も少ない優れた点眼薬が次々に開発され、目薬だけで手術を必要とせずに眼圧のコントロール可能なケースが増えていきます。**緑内障治療の第一歩は早期発見**です、お近くの眼科へご相談ください。

## ほっかほっかの食事を患者さまの食卓へ（温冷配膳車の導入）

平成17年2月15日より患者サービス向上のため、2東・3東・3西・4東・4西病棟へ温冷配膳車を導入し、ほっかほっかの食事を患者さまの食卓へ届けます。

また、平成17年度中には5東・5西・6東・6西病棟にも導入し全病棟で実施いたします。

### 温冷配膳車が導入されるとこんな変化が・・・



今回導入される温冷配膳車

温かいものは温かく 冷たいものは冷たく・・・

患者さまに食事を楽しんでいただくためには、おいしさを引き立たせる最適な温度は、欠かせない要素です。

温冷配膳車の導入により、それを実現します。

新しい食器でおいしさを演出・・・

また、患者さまのご意見である「食器の色や食事の見た目が悪い」というイメージを一新いたします。

現在使用している適温食器は保温するという役割を持つため、色・形等制限がありましたが、温冷配膳車の導入により、その制限がなくなり、いろんな素材のいろんな柄・カラーの食器を使用することが可能になります。

※平成15年11月に実施いたしました入院患者さま食事アンケートの食事温度への回答では（現在の保温食器使用分）「適当」14% 「やや適当」7% 「普通」52% 「やや不適當」22% 「不適當」7%でしたが、温冷配膳車の導入により大きく改善されると考えております。期待しててください。



栄養管理室 巽 達也

# 安全で人にやさしい医療機器・治療法の紹介

## 平成17年の2月に更新される乳房撮影装置のご紹介

わが国の乳がん患者は、年々増加しており女性では胃がんを抜いてもっとも罹患率の高いがんとなっています。

乳房のX線写真の事をマンモグラフィと呼びます。

乳房はやわらかい組織であることからX線吸収の差が小さいために、普通のX線写真とは違い専用のX線撮影装置と特殊なフィルムを使って診療放射線技師が撮影します。

X線撮影を行うことで視触診では分からなかった比較的早期の乳がんが発見できたり、また触れるしこりが、がんであるかの鑑別にも有効です。

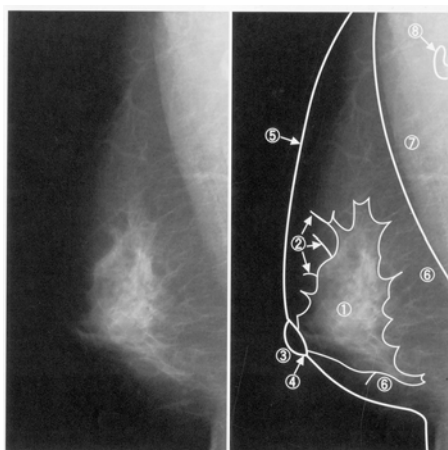
まず、撮影装置の前に立って乳房を片方ずつ台の上ののせ、プラスチックの板で上下や斜めなどから挟んで撮影します（圧迫といいます）。圧迫により乳房の厚さが均一になり乳房内部がよくわかる写真が撮影できます、又、乳房を薄くする（圧迫する）ことで放射線被曝線量を少なくする事ができます。

今回更新された装置は、以前の装置ではできなかったフットスイッチによる乳房圧迫ができます。このため撮影技師の両手が自由となりスムーズな位置合わせおよび圧迫ができ、患者さまの不快感を軽減できます。また撮影時は患者さまが装置に直接触れますので装置はやわらかな曲面をもった優しいデザインとなっています。

乳房撮影装置はよりよい写真を得るため、またスムーズに撮影ができるように色々な基準が日本医学放射線学会で設けられており、この装置はその基準を満たした乳房撮影装置です。

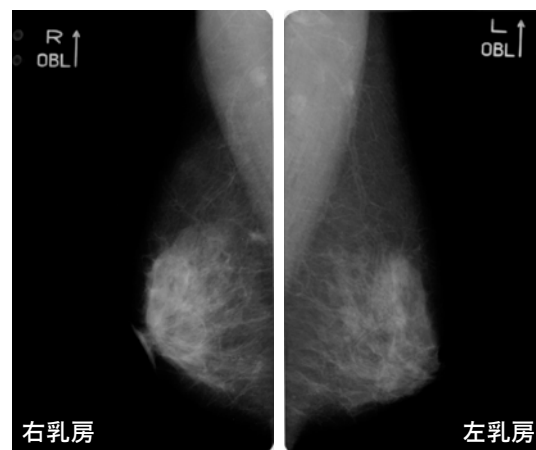


更新される乳房撮影装置



乳房の解剖と正常像

- ①乳腺組織 ② Cooper 靱帯 ③乳頭
- ④乳輪 ⑤皮膚 ⑥皮下脂肪
- ⑦大胸筋 ⑧腋下リンパ節



乳房撮影装置で撮影した写真

(写真は常に左右の乳房が対称になるように撮影します。)

## 女性総合外来のご案内

当院では、女性医師による「女性総合外来」を行っております。何か自分の体や病気のことで心配のある方、悩みのある方、一度受診をされてはいかがでしょうか。

○診察日時 毎週木曜日、午後2時から4時、完全予約制（1人30分）

○申し込み方法 総合案内で直接お申し込みいただくか、電話の場合は、平日の午後1時から4時まで女性総合外来（072-777-8320）で受け付けております。

## 看護師の専門分野資格者紹介③

看護師の資格を持ちながら、さらに専門分野の認定を受け活躍している看護師をシリーズで紹介します。

**思春期保健相談員 金高 敏子**

日本家族計画協会主催の研修を3期受講し認定を受けます。

医療の分野のみならず、保健、福祉、教育の現場で思春期の子ども達をサポートしますが、現在、市内の中学校の依頼を受け、性教育の講義を行っています。

## 最先端の骨密度測定装置を導入しました。

高速で精度の高い骨密度測定装置（DEXA）を平成17年1月20日新たに導入いたしました。高齢化社会を迎え、骨粗鬆症は社会問題化してきています。骨粗鬆症のもたらす弊害は病的骨折で、特に脊椎圧迫骨折や大腿骨頸部骨折は、痛み、寝たきりの増加につながります。問題となる腰椎や大腿骨などの骨密度測定が可能となった新しい骨密度測定装置を役立ててください。

## 毎週水曜日 1階ロビーにてピアノ演奏

宝塚市在住のピアノ講師、本吉住花さんと井上淳子さんによるピアノ演奏を行っております。お二人は、「喧騒とした病院待合の場で、ひと時でもゆったりと安らぎを感じてもらえれば」とボランティアによる演奏を申しでて下さいました。

毎週水曜日 12時から30分程度演奏を致します。お楽しみください。



ピアノ演奏風景

## 医師の人事異動が下記のとおりありましたので、お知らせいたします。

採用（17年1月1日）		退職（16年12月31日）	
内科部長兼循環器部長	酒井尚彦	泌尿器科部長	伊藤周二
泌尿器科医長	岩田裕之	眼科医長	板谷浩志
整形外科医員	南平昭豪	整形外科医員	南野勝彦